

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: エマール 10PT

製品コード: B0012667

### 製造業者/輸入業者/販売業者情報

#### 国内製造事業者等の情報

会社名: 花王インダストリアル (タイランド) カンパニー リミテッド  
住所: 55 Wave Place Bldg., 15th Floor., Wireless Rd., Lumpini, Pathumwan, Bangkok 10330 Thailand  
電話番号: 03-5630-7601  
FAX番号: 03-5630-7601  
担当者 (作成者): ケミカル事業部門

緊急連絡電話番号: 03-5630-7601

## 2. 危険有害性の要約

### 化学品の GHS 分類:

#### 健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	区分 4
皮膚腐食性/刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1

#### 環境有害性

水生環境有害性 短期 (急性)	区分 2
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 3

### GHS ラベル要素

#### 絵表示:



<b>注意喚起語:</b>	危険
<b>危険有害性情報:</b>	飲み込むと有害。 皮膚刺激。 重篤な眼の損傷。 水生生物に毒性。 長期継続的影響によって水生生物に有害。
<b>安全対策:</b>	取扱い後はよく洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。環境への放出を避けること。保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
<b>応急措置:</b>	飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
<b>保管:</b>	-
<b>廃棄:</b>	内容物／容器を適切な焼却炉で焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

**未知の毒性 - 健康**

急性毒性（経皮）	97.8 %
急性毒性、吸入、粉塵またはミスト	98.5 %

**未知の毒性 - 環境**

水生環境有害性 短期（急性）	0 %
水生環境有害性 長期（慢性）	0 %

**3. 組成及び成分情報**

化学物質

化学名又は一般名	CAS番号	ISHL	ENCS	含有率のパーセント (%) *
ラウリル硫酸ナトリウム	151-21-3	Yes	Yes	

**4. 応急措置**

必要な応急処置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合:	多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。多量の流水で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合:	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合:	口をすすぐこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。直ちに医師に連絡すること。

## 5. 火災時の措置

### 適切な（および不適切な）消火剤

適切な消火剤: 水噴霧、粉末消火薬剤

使ってはならない消火剤: データなし

化学物質に起因する特定の危険有害性: 火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出する。

### 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消防士のための特別な保護具: 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。燃焼ガスには、一酸化炭素等の他、硫酸化物系のガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡）を着用する。多量の場合、人を安全に待避させる。必要に応じた換気を確保する。風上から作業する。

封じ込めと洗浄の方法および材料: 粉塵爆発安全対策仕様の掃除機、ほうき等を使用して、粉塵が発生しないように回収する。

環境に対する注意事項: 環境への放出を避けること。

二次災害の防止策: データなし

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策  
(局所排気、全体換気等): 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。粉塵が発生する場合は、局所排気装置を使用する。

安全取扱注意事項: 眼との接触を避けること。粉塵を吸入してはならない。適切な排気換気装置を使用する。取扱い後はよく洗うこと。適切な保護具を着用すること。この製品を使用するときは飲食および喫煙をしない。粉塵の発生を避ける。粉塵爆発の危険性も考えられるので大量の取扱いには注意する。

接触回避: データなし

衛生対策: データなし

### 保管

安全な保管条件: 密栓した容器に保管する。直射日光を避け、換気の良い暗所に保管する。

安全な容器包装材料: データなし

貯蔵温度: データなし

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 許容濃度等

#### 暴露限界値

日本産業衛生学会 : 2 mg/m<sup>3</sup> (吸入性粉塵) 8 mg/m<sup>3</sup> (総粉塵) (第3種粉塵)  
その他の無機および有機粉塵

ACGIH : 10 mg/m<sup>3</sup> TWA (inhalable particles, recommended); 3 mg/m<sup>3</sup> TWA (respirable particles, recommended) (Particulates (insoluble or poorly soluble) not otherwise specified (PNOS))

### 個人用保護措置

眼/顔面の保護具: 側板付き保護眼鏡 (必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)

手の保護具: 素材: ゴム保護手袋

皮膚及び身体の保護具: 長袖作業衣

呼吸用保護具: 必要により防塵マスク

## 9. 物理的及び化学的性質

### 外観

物理状態:	固体
形状:	粉末（微粒子タイプ）
色:	白色～淡黄色
臭い:	わずかな（若干）特異臭
臭いの閾値:	データなし
pH:	6.8 - 8.3 (1%溶液) /
融点:	>= 212 ° F / >= 100 ° C
沸点:	データなし
引火点:	/ 検出せず
蒸発速度:	データなし
可燃性:	データなし
爆発限界－上限:	データなし
爆発限界－下限:	データなし
蒸気圧:	データなし
蒸気密度 (Air=1):	データなし
密度:	データなし
比重:	データなし
溶解度（水）:	溶解
溶解度（その他）:	イソプロパノール、キシレン、エチレングリコールに不溶
n-オクタノール／水分配係数:	データなし
自然発火点:	データなし
分解温度:	データなし
動粘性率:	データなし
粘性率:	データなし
粒子特性:	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性:	データなし
化学的安定性:	通常の使用では安定。
危険有害反応可能性:	製品を分解点以上に加熱すると、毒性のある蒸気が放出されるかもしれない。粉塵爆発の危険性あり。

避けるべき条件:	データなし
混触危険物質:	データなし
危険有害な分解生成物:	データなし

## 11. 有害性情報

### 急性毒性（可能性のある全ての暴露経路をリストアップする）

#### 経口

製品: 混合物の急性毒性推定値: 1,226.99 mg/kg

#### 経皮

製品: データ不足のため分類できない。

#### 吸入した場合

製品: 粉じん、ミストおよびヒューム: データ不足のため分類できない。

#### 皮膚腐食性／刺激性

製品: データなし

#### 成分:

ラウリル硫酸ナトリウム 区分 2: (96)

#### 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

製品: データなし

#### 成分:

ラウリル硫酸ナトリウム 区分 1: (8)

#### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品: 皮膚: データ不足のため分類できない。  
呼吸器: データ不足のため分類できない。

#### 発がん性

製品: データ不足のため分類できない。

#### IARC:

発癌性成分は確認されておりません。

#### ACGIH:

発癌性成分は確認されておりません。

#### NTP:

発癌性成分は確認されておりません。

発癌性成分は確認されておりません。

EU

発癌性成分は確認されておりません。

#### 生殖細胞変異原性

in vitro

製品: データ不足のため分類できない。

in vivo

製品: データ不足のため分類できない。

#### 生殖毒性

製品: データ不足のため分類できない。

#### 特定標的臓器毒性（単回ばく露）

製品: データなし  
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

#### 特定標的臓器毒性（反復ばく露）

製品: データなし  
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

#### 誤えん有害性

製品: データなし

#### その他の影響:

データなし

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性:

#### 水生環境有害性 短期（急性）

魚類

製品: データなし

水生無脊椎動物

製品: データなし

水生植物毒性

製品: データなし

成分:

ラウリル硫酸ナトリウム 区分 2: (88)

#### 水生環境有害性 長期（慢性）

魚類

製品:	データなし
水生無脊椎動物 製品:	データなし
水生植物毒性 製品:	データなし
成分: ラウリル硫酸ナトリウム	区分 3: (88)
<b>残留性・分解性</b>	
生分解性 製品:	データなし
BOD/COD比 製品:	データなし
<b>生態蓄積性</b>	
生物濃縮係数 (BCF) 製品:	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (log Kow) 製品:	データなし
土壤中の移動性:	データなし
オゾン層への有害性:	規制されないデータなし 成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。
その他の情報:	データなし

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。内容物／容器を適切な焼却炉で焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。焼却処理を行う場合、焼却時、一酸化炭素、硫黄酸化物系ガス等発生するので、少量ずつ焼却処分する。本製品は廃棄物処理法に基づいて産業廃棄物と分類される。本法および地域の条例に基づいて廃棄すること。
汚染容器及び包装:	データなし

### 14. 輸送上の注意

#### 国際規則

##### IMDG

該当せず。



## IATA

該当せず。

## 国内規制

国内規制: 国内法に従う。

## 15. 適用法令

### 化学物質排出把握管理促進法

#### 第一種指定化学物質:

ドデシル硫酸ナトリウム;

68%

#### 第二種指定化学物質:

アルキル硫酸エステルナトリウム（アルキル基の炭素数が16から18までのもの及びその混合物に限る。）;

5.5%

### 労働安全衛生法

規制されない

### 毒物及び劇物取締法

規制されない

### 火薬類取締法:

規制されない

### 高圧ガス保安法:

規制されない

### 消防法:

危険物、指定可燃物に該当しない。

### 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

#### 優先評価化学物質:

ナトリウム＝アルキル（C8～18）＝スルファート;

### 船舶安全法・危規則:

規制されない

### 航空法・施行規則:

規制されない

### 輸出貿易管理令

規制されない

**登録状況:**

TSCA:	On or in compliance with the inventory
DSL:	On or in compliance with the inventory
AICS:	On or in compliance with the inventory
KECI (KR):	Contact us for information
ENCS (JP):	On or in compliance with the inventory
ISHL (JP):	On or in compliance with the inventory
PICCS (PH):	On or in compliance with the inventory
IEGSC:	On or in compliance with the inventory
REACH (EU):	Contact us for information
TCSI:	On or in compliance with the inventory

**16.その他の情報**

**免責条項:**

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。当安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。貴社が、弊社当該製品をそのまま、あるいは弊社当該製品を配合し、米国へ輸出する際には、事前に弊社担当者へご連絡をお願いいたします。

香料製品の場合は、香粧品原料として通常の使用では I F R A スタンダードに適合しています。詳細については供給者に問い合わせ下さい。

**引用文献:**

- ・ G H S に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート ( S D S ) ( J I S Z 7 2 5 3 : 2 0 1 9 )
- ・ 国際化学物質安全性カード ( I C S C ) コンパイラズガイド 日本語版国立衛生試験所化学物質情報部編、化学工業日報社、 1 9 9 4 年
- ・ G H S 対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針、(社)日本化学工業協会、2 0 1 9
- (8): OECD SIDS
- (88): ECHA-REACH Registered Substances Database
- (96): CESIO RECOMMENDATIONS for the harmonized classification and labelling of surfactants (March 2017)